楽しく豊かな学級・学校生活をつくる 特別活動
～学級集団を評価する～

年度当初は単なる個人の集まりだった学級は，心の通い合う様々な活動を通して，個々の学級への所属感や児童生徒相互の連帯感が高まり，一つの集団としてまとまっていきます。いじめや不登校などの課題を未然に防ぐためにも，個の変容とともに集団の変容についても客観的に評価することが一層求められています。

自己評価を集団の評価に生かす

集団の変容を把握する方法の一つとして，児童生徒の自己評価を生かす方法があります。

学級目標の到達度を可視化した取組（米子市立淀江小学校）

米子市立淀江小学校では，年度当初に学校経営目標を基盤として保護者，地域，担任の思いと子どもたちの思いをもとに作った**学級目標の到達度を視覚化**して掲示しています。

4年3組では，学級目標『スターチャレンジ』をもとに，「一日一回発表」「困っている友だちに声をかける」「縄跳び400回」の3つの観点を取り上げ，**自己評価を総合して学級の評価**をしています。

3年1組では，学級目標『心を合わせ どんな時もあきらめないで なかよく元気よくみんなでジャンプ』をもとに，「1日2回発表」「大縄300回」「話の聞き方」「困った人に声をかける」「挨拶，返事」の5つの観点を取り上げ，**自己評価を総合して学級の評価**をしています。

子どもたちによるSPDCAに生かされています。

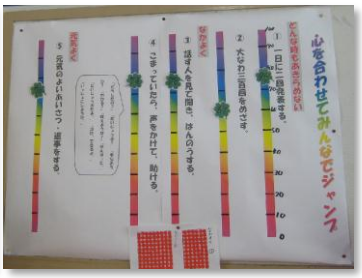


4年3組



3年1組





「学級力」の指標を取り入れた取組（境港市立渡小学校）

境港市立渡小学校では，新潟大学附属小学校の実践を元に，「学級力」による学級集団の評価に取り組んでいます。「学級力」は，学級集団の力を4領域8項目の**児童アンケートを元に**レーダーチャート化し，**RPDCAサイクルで改善**していく手法です。



【学級力の指標】

〈目標達成力〉	①目標をたてる　②努力する
〈創造的対話力〉	①話をつなげる　②新たな考えをつくる
〈協調維持力〉	①相手を受け入れる　②助け合い教え合う
〈規律遵守力〉	①生活のきまりを守る　②学習の約束を守る





「学級力」による評価は，学校全体で意図的，計画的，組織的に運用されることにより，担任の技や力量だけでなく，学校体制で全ての学級を分析的にとらえることができます。全ての教師がお互いに助言し合い，**みんなで学級力を高めていく**のです。「学級担任任せの学級経営」から，「**全校体制による学級経営**」という考え方を大切にしています。

個と集団，それぞれを見取る評価

教師は，集団の評価を通して，学級の状況を把握し，自らの指導内容や指導方法を振り返るとともに，今後の指導に生かします。特別活動の評価の対象は，「指導計画，指導方法，集団の変容，個人の変容」の4点に大別することができます。児童生徒一人一人のよさを多面的，継続的に見取るとともに，集団の変容を客観的に把握し，指導に生かすことが大切です。個と集団，それぞれの変容をしっかりと見取り，**一人一人が楽しく豊かに過ごすことのできる学級づくり**ができるよう，組織的に取り組んでいくことが効果を高めます。